

弓道人の日常の心掛け（１）

２、道場の出入りで

- ・ 道場で履物を脱ぐときは入船で脱ぎ、式台で出船にするか、下足棚がある場合は必ず棚に収納する。
- ・ 靴や草履をそろえてもらった時はそのまま履かず、必ず手を添えて履く。
- ・ 道場に入るときはオーバー・コート等をぬいでから入る。
防寒具を身につけたまま神拝などしない。

３、道場内で

- ・ 神殿には神拝を行い、また国旗があれば拝礼し、何もない場合でも床の間（上座）に向かい一礼したのちに先生や先輩に挨拶する。
- ・ 学校の体育会系クラブのように、同僚といえども道場内では人の名は呼び捨てにせず、敬称をつけましょう。
- ・ 一段高くなっている審判席（畳）に腰をかけることはさける。
- ・ 道場内で喫煙は絶対にしない。
- ・ 弓を引くときは「指輪」「ピアス」等の装身具はつけない。
- ・ 道場内でみだりに声高に談笑せず規律を守るように心かける。
- ・ 道場内で立膝はしない（体操座りはしない方がよい）。
- ・ 部屋の出入りの際、敷居に乗らない。また畳の縁を歩いたり、座ったりしない。
- ・ 的に乗せた賞品をもらう時は軽く的にふれ感謝の意を表し賞品をいただく。